

東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想（案）に対する パブリックコメントの結果について

東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想（案）について、パブリックコメントを実施したところ、次のとおりの結果となりました。

1 提出した市民等の人数及び提出された意見の数

3人及び1法人 17件

2 意見の提出期間

令和5年12月6日（水）から令和6年1月5日（金）まで

3 提出された意見及び市の考え方

提出されたご意見及び市の考え方は、以下のとおりです。

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
1	1	基本構想（案）37 ページ 2階平面イメージで西側にある校舎の普通教室1～6では黒板はどのような向きになるのでしょうか。窓側や廊下側にはこないとする、普通教室1～3は北側、普通教室4～6は南側に黒板がくると考えると、窓から入る光で手元が影にならないと思います。もしくはLED照明で自然採光に頼らない教室仕様とする想定でしょうか。	基本構想（案）は、施設整備に向けた基本的な考え方を示すもので、具体的な黒板の配置や向きにつきましては、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、最適な環境を検討してまいります。 また、新校舎の照明につきましては、省エネルギーの観点から、原則、すべての照明についてLEDを採用することとしております。また、自然採光を取り入れた建物とすることも検討します。
	2	基本構想（案）36,37 ページ 2階にある職員室などの管理諸室は保健室と同一階の1階の方が連携が取りやすいのではないかと感じました。1階に用がある来校者は2階に行き、また1階に降りることになるかと。小学校は校庭でよく遊ぶイメージなので、校庭で何か起きたときを想定し、迅速に対応できるようにするとよいのではないかと思います	東大和市立第七小学校・第九小学校統合検討会議において、特別支援関係諸室は1階に配置することが望ましいとの結論に達しました。そのことから、管理諸室は2階を中心に配置しております。また、来校者については、現在の第九小学校と同様に、外階段から直接2階に行くことができる動線を確保しており、職員室を建物の中心（2階）に配置すること

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>ます。また、車椅子での来校者の動線も考えると1階中央ピロティから入るのが車椅子用の駐車場からの距離を考えると適当だと思います。またその際、エレベーターまでが体育館寄りで遠いように感じます。車椅子利用の児童も今後いるのではないかと思いますので昇降口寄りの方が良いと思います。</p>	<p>で、校庭を広く見守ることが可能となります。</p> <p>なお、エレベーターの位置につきましては、L字型校舎において西側の校舎からもアクセスしやすい位置としております。</p>
3		<p>基本構想(案)37ページ 特別教室と図書室の配置についてです。給排水設備が必要な家庭科室、図工室、理科室は同じ階にしたほうが工事がしやすいのではないかと思います。また図書室はメディアセンターという名前からも情報機器も設置や保管されると予想されます。そのため、給排水を伴う特別教室の上に配置した方が漏水などのリスクは避けられるのではと思いました。</p>	<p>具体的な建物の構造につきましては、今後、基本構想に基づき設計を進めてまいります。今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいります。</p>
4		<p>新しい学校にあっという間と思う場所のアンケートでは、遊具のある遊び場が34.5%となっていますが、これからの学校には鉄棒、登り棒などの最低限の遊具があれば十分だと思っています。低学年の児童には申し訳ありませんが、保育園や幼稚園にあるような滑り台、ブランコ、築山などは小学校には不要と考えています。使用頻度の割に劣化も激しい屋外遊具は管理維持コストの面で削減した方がよいと思います。昔は学校も公園のように利用されていましたが、不審者対応など様々なリスクが増えてきて学校も</p>	<p>遊具等の設置につきましては、ご意見にありますとおり、維持管理コスト等も考慮して検討していく必要があるものと認識しております。</p> <p>具体的な遊具等の設置につきましては、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいります。</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>管理が難しいと思います。屋外遊具を減らす分、一輪車や竹馬といったモノを増やすといいと思います。</p>	
2	1	<p>新校の平面計画を拝見したところ、学童保育所や集会室などの施設や学校への入口(門)が、平面図の左下にあります。駐車を利用する場合、駐車後に職員・来校者の門から出て、再び学童保育所・集会室利用者の門から入るようにしたとしても、おそらく学童保育所・集会室利用者の門ではなく、そのまま学校内をビオトープ方面か校庭方面から行く方が多くなると思います。</p> <p>また、学校のない日(土曜や日曜、祝祭日、春夏秋冬の長期休み)にも集会室は利用されることになると思いますので、駐車場は学童保育所や集会室の施設に近い方が良いと思います。</p> <p>ですので、学童保育所や集会室の施設付近に駐車場を増やすか、駐車場、学童保育所や集会室施設の位置変更を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>基本構想(案)では、安全上の観点から、児童の動線と車の動線を分ける計画としております。現在の第七小学校と同様に、東側の門と西側の門から児童が登下校をすることとし、北側の門は車の出入口や教職員・来校者の出入口としております。</p> <p>このことから、駐車場は北側のみの配置を計画しております。</p> <p>駐車場の増設等は、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいります。</p>
3	1	<p>今後も学校統合が予定されているので市民に周知させる時間を充分に取ってください。今のやり方では、余りにも周知が不足!!形だけのパブコメで終わる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、適宜、市報、市公式ホームページ、SNS、説明会等で周知してまいります。</p>
	2	<p>建屋を4Fにして防災拠点とする。</p>	<p>新校舎は、建築基準法上の日影規制の関係等から、3階建ての計画としております。</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
	3	屋上の有効活用。ソーラーパネルだけでなく、温水器と給水槽の設置。	今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいります。
	4	自然環境の整備。ビオトープを計画より大きくする。七小と空堀川、七森を一体化した学校。	<p>ビオトープの設置につきましては、維持管理等も含め、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいります。</p> <p>また、周辺の自然環境との一体的な整備につきましては、庁内で情報共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
	5	学童ルームに放課後教室の併設。	新校舎には、学童保育所を複合化するとともに、校舎内には、放課後子ども教室用の諸室を設置する計画としております。
	6	グラウンドの芝生化。	グラウンドの芝生化につきましては、整備や管理面で財政負担を伴うことから、現時点では予定しておりません。
	7	プール廃止に伴う水泳教室の質向上。近隣プールへの移動時の安全確保と補助員の確保。	<p>新校舎では、プールは建設しない計画としております。</p> <p>新しい学校におけるプールの運用につきましては、近隣校のプールの共同利用や民間プールを利用することとしております。移動時の安全の確保等に十分配慮して実施してまいりますので、その旨を構想案40ページの8の(1)に追加します。</p>
	8	<p>九小の有効活用。建物は残して市民が自由に使える施設とする。</p> <p>① 防災拠点化。</p> <p>② 幼保老の複合施設を1Fに作る。</p> <p>③ 2F以上に学童、中高生、青年、市民のための施設を作る。</p> <p>④ スポーツクラブの設置：体育館、</p>	<p>新校舎建設後の第九小学校につきましては、現時点での活用は未定であります。今後、時期を捉え、有効な活用方法について、検討してまいります。</p> <p>ご意見につきましては、庁内で情報共有し、今後の施策の参考とさせ</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>プールの活用。</p> <p>⑤ グラウンドの芝生化。</p> <p>⑥ グラウンド周辺にビオトープ設置。</p> <p>⑦ 工作、物造りの施設設置。</p>	<p>ていただきます。</p>
4	1	<p>基本構想（案）24 ページ</p> <p>4 新校整備方針</p> <p>（1）基本方針</p> <p>（a）新しい学校建設のコンセプトに則した学校整備</p> <p>4 防災拠点としての学校づくりに賛同するとともに、下記の通り<u>太字下線部分</u>の追記を提案いたします。</p> <p>（原文）</p> <p><u>整備内容</u></p> <p>バリアフリー化、多機能トイレ、防災備蓄倉庫の設置、浸水対策等</p> <p>（追記提案）</p> <p><u>整備内容</u></p> <p>バリアフリー化、多機能トイレ、防災備蓄倉庫の設置、浸水対策、<u>エネルギーの確保等</u></p> <p>（理由）</p> <p>地域住民にとっても防災上重要な拠点となる新校整備では、災害時における業務継続機能を強化し災害に強いまちづくりを推進するうえでも、避難された市民の方や働く職員が安全で安心かつ平常時の日常生活に近い環境を提供することが重要です。</p> <p>『東大和市地域防災計画』（令和</p>	<p>市におきましても、エネルギー確保の視点や災害時の重要性については認識しており、構想案の27ページに電源の多重化を検討する旨記載しております。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、「エネルギー確保対策」を追加します。</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>2年3月修正)では、「第2部施策ごとの具体的計画(災害予防・応急・復旧計画)」、予防対策7項目の中で「7 エネルギーの確保:市は、公共施設や拠点施設の機能を維持するための自立・分散型電源の整備等により電力を確保し、都市機能の維持に向けたエネルギーの確保を推進する。」(P. II-4-13)との記述があり、エネルギー確保の重要性について示されております。</p>	
2		<p>基本構想(案)27ページ (3)避難所としての整備 (b)整備内容 ③ライフラインの途絶等に対応した建築設備の機能確保 に賛同するとともに、下記の通り<u>太字下線部分</u>の追記を提案いたします。</p> <p>(原文) インフラ途絶時の非常用電源を確保するため、非常用発電機や太陽光発電設備の活用等、複数の対策による電源の多重化を検討します。</p> <p>(追記提案) <u>電力インフラ途絶時の非常用電源を確保するため、非常用発電機や太陽光発電設備の活用</u><u>太陽光発電設備や停電対応型設備の活用</u>、<u>非常用発電機等</u>、複数の対策による電源の多重化を検討します。</p> <p>(理由) 学校施設は子どもたちの成長の場</p>	<p>ここで使用している「インフラ」は、電力のほか、給排水設備についても対象としております。</p> <p>また、非常用電源を確保するためにどのような設備を導入するかにつきましては、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいります。</p> <p>なお、構想案24ページに「エネルギー確保対策」の文言を追加することから、「電源の多重化を検討します」を「<u>電源の多重化等のエネルギー確保対策を検討します</u>」に変更します。</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>であるとともに、災害時には地域防災拠点としての役割を担う重要な公共施設です。非常時には避難された市民の命を守る、安全・安心かつ平時の日常生活に近い環境（電源確保・空調環境・食事環境等）を提供することが重要です。</p> <p>災害による大規模停電発生時の避難所等の災害対応拠点の機能確保と、72時間を超える長期の停電に対する備えとして、太陽光発電設備の導入も有効ですが、気象等の条件に影響されることから、再生可能エネルギーとの親和性が高いコージェネレーションシステム※1や停電対応型 GHP※2等の導入促進を図り、レジリエンス性を高めることも重要と考えます。</p> <p>また、防災・減災対策との横断的連携により推進する施策については、フェーズフリー※3の考え方を含む多角的な視点から検討するなど柔軟な考えを取り入れていく必要があります。GHP のエネルギー源である都市ガスの強靱性について、以下の通りご紹介いたします。</p> <p>※1 <CGS（コージェネレーションシステム）> ガスコージェネレーションシステムは、都市ガスを燃料としてエンジン、タービン、燃料電池などで発電し、この時に生じる熱エネルギーも蒸気や温水に変えて利用する、総合エネルギー効率の高いシステムです。さらには「系統電力への供給電源」と</p>	

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>いう分散型電源として、また、変動型再生可能エネルギー拡大時の電力需給調整力としての社会的役割が期待されています。(日本ガス協会 HP より)</p> <p>※2 <GHP (ガス・エンジン・ヒートポンプ) > ガス・エンジン・ヒートポンプは、室外機のコンプレッサをガスエンジンで駆動し、ヒートポンプによって冷暖房を行う空調システムです。暖房時は、エンジンを動かすために使用したガスの排熱も利用するため、霜取り運転をする必要がほぼなく、電気式 (EHP) よりもパワフルでスピーディーな暖房を実現、総消費電力は、電気式 (EHP) と比べ約 10 分の 1 で済みます。また、発電機付ガスヒートポンプ (GHP) の総消費電力は、電気式 (EHP) と比べ約 100 分の 1 以下と 100W 程度まで低減できる機種もあります。そのため契約電力を 50kW 未満に抑えることも可能で、受変電設備が不要となるなど、大幅な経費節減が図れます (日本冷凍空調学会 HP GHP の特長より抜粋)</p> <p>※3 <フェーズフリー> フェーズフリーとは、身のまわりにあるモノやサービスを、平常時はもちろん、非常時にも役立てることができるという考え方。(一般社団法人フェーズフリー協会HPより)</p>	
	3	<p>基本構想 (案) 32 ページ (6) コスト削減に向けた方策等</p>	<p>新しい学校における設備の整備につきましては、高効率で省エネ性能</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>上記（１）～（５）を踏まえ、新しい学校を建設するに当たっては、以下のとおりコスト削減に向けた方策等に取り組むこととする。</p> <p>に賛同するとともに、下記の通り<u>赤字下線部分</u>の追記を提案いたします。</p> <p>（原文）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい学校における設備の整備に当たっては、安全性、信頼性が高く、機器更新やメンテナンスが容易な設備を検討する。空調設備は、諸室の構造等を踏まえ、ランニングコストの低減に配慮した機器の採用を検討する。 <p>（追記提案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい学校における設備の整備に当たっては、安全性、信頼性が高く、機器更新やメンテナンスが容易な設備を検討する。空調設備は、諸室の構造等を踏まえ、ランニングコストの低減に配慮した<u>高効率で省エネ性の高い</u>機器の採用を検討する。 <p>（理由）</p> <p>学校施設のエネルギーにかかる費用は、電力が費用の約６割、その中でも照明・空調設備が６割近くを占めています。（東京都省エネルギー診断の結果より）この結果から、空調設備を中心に省エネルギー対策を推進していくことは、コスト削減効果にも繋がるといえます。</p> <p>電気の基本料金は過去 1 年間の</p>	<p>の高い機器も含め、ランニングコストの低減に配慮した機器の採用を検討してまいります。</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>最大需要電力（デマンド）により決まるので、電気空調の場合は夏場のピーク電力が大きくなるため電力の契約基本料金が高くなってしまいます。ガス空調（GHP）を導入することで電気の基本料金をカットすることができ、トータルでのランニングコスト削減につながります。</p> <p>また、都市ガスの高圧・中圧導管は高い耐震性が各地で報告されており、東日本大震災においても被害がありませんでした。低圧ガス導管も、その多くは耐震性を備えるポリエチレン管に代替するなど、継続的な耐震性向上の取り組みが行われており、実績として近年の地震対応では復旧期間もかなり短縮されています。ガス導管は地中に埋設されているため風水害に強く、令和元年9月に発生した台風15号では、関東地方に上陸したものとして観測史上最強クラスの勢力で千葉県を中心に多くの方が甚大な被害を受けましたがガス供給は継続していたため千葉県内の停電エリアに設置されていた停電時発電継続機能付きエネファームが自立発電し、給湯として利用されただけではなく生活環境の維持に大きく貢献しました。</p> <p>自然災害に強い都市ガス設備は、市民生活の基盤である社会インフラとして地域価値の向上にも貢献しています。</p>	
	4	<p>基本構想（案）41 ページ 8 その他事項 （6）環境に配慮した整備</p>	<p>市におきましても、省エネルギー化の重要性は認識しており、構想案において、エネルギー消費量や CO2</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>に賛同するとともに、下記の通り<u>太字下線部分</u>の追記を提案いたします。</p> <p>(原文) 新しい学校は、東大和市公共建築物環境配慮整備方針（令和4年10月）に基づき、太陽の光や自然の風を取り入れるなどの自然エネルギーの利用等による省エネルギー性能、太陽光発電等の再生可能エネルギー性能を備えた建築物とするため、検討を進めます。</p> <p>(追記提案) 新しい学校は、東大和市公共建築物環境配慮整備方針（令和4年10月）に基づき、太陽の光や自然の風を取り入れるなどの自然エネルギーの活用や建物の断熱性能向上等の要素と、<u>高効率エネルギー設備や利用等による省エネルギー性能、太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の要素をともに取り入れることで、環境に配慮した性能を備えた建築物とするため、検討を進めます。</u></p> <p>(理由) 太陽の光や自然の風を取り入れるなどの自然エネルギーの利用等による省エネルギー性能（＝パッシブデザイン）の導入と共に、安定的に省エネ性を補う設備・システムの高効率化技術であるアクティブデザインの検討が必要不可欠です。風水害等天候不良時の再生可能エネルギーの</p>	<p>排出量の削減に取り組んだ施設整備を目指しております。</p> <p>ご意見につきましては、趣旨と合致していると考えております。</p>

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
		<p>デメリット補完として、親和性の高い CGS・停電対応型 GHP 導入を提案いたします。脱炭素社会を実現するためには、様々な環境負荷低減の取り組みや配慮が必要であり、建物のエネルギー消費性能の向上に加え、エネルギー効率の高い機器の採用による省エネルギー化は極めて重要になります。</p>	